

“清涼飲料自販機の消費電力量削減活動、2010年進捗状況”

2005年比、総消費電力量32.4%の削減を達成！

清涼飲料自販機協議会

東日本大震災に伴う計画停電実施以降、清涼飲料各社は東京電力および東北電力管内において、24時間消灯そして政府の方針に沿って今夏のピーク時電力の削減と清涼飲料自販機の節電対策を打ち出しております。一方、長期的視点では、2008年12月に地球温暖化防止対策として、清涼飲料自販機の消費電力削減のための「自主行動計画」を策定し、現在目標達成に向け削減活動に取り組んでいます。

取組み2年目である2010年の進捗状況の結果が纏まりましたので、ここに公表します。

1. 消費電力量削減の為の「自主行動計画」2010年進捗状況

清涼飲料自販機業界は、京都議定書に先立つ1991年より清涼飲料自販機の消費電力量削減に取り組んでおります。その結果、1991年から2005年の15年間で自販機の総消費電力量を約20%削減致しました。そして2008年12月、新たな消費電力量削減の取組みとして「自主行動計画」を策定し2009年1月より新しい取組みを始めています。

－2010年清涼飲料自販機総消費電力量削減状況－

	2005年基準年比 削減率	2012年（短期目標年）比 進捗率
省エネタイプ自販機への入替えによる消費電力量削減	29.0%	89.3%
屋内設置自販機の照明、24時間消灯による消費電力量削減	3.4%	76.1%
合計	32.4%	87.3%

◇ 省エネタイプ自販機への入替えによる消費電力量削減効果においては、特に最新省エネ機であるヒートポンプ自販機の予定を上回る投入(予定の3.7倍)が消費電力量の削減(2005年に比較し29.0%削減)に大きく寄与しました。

また、2009年1月より、屋内に設置されている自販機の照明を24時間消灯する活動を展開しています。設置先の了解を得ることにより、屋内に設置されている自販機の照明を76.1%(2010年12月調査時)消灯しました。因みに2011年5月調査では、85.7%と更に消灯が進んでいます。

このことにより、2005年に比較し消費電力量を32.4%削減することが出来ました。今後の見通しとしては、短期目標(2012年)の37.1%削減(2005年基準年比)まで残り2年で4.7%の削減という事になり、達成はほぼ確実な状況となりました。